

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和02年11月17日

計画の名称	都市機能を再構築する八戸市中心拠点地区整備計画												
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	八戸市												
計画の目標	市民や圏域住民など多彩な人々が集い、多様な機能が集積する「八戸の顔」にふさわしい個性あふれるまちづくり												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	6,822	A	6,516	B	0	C	306	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	4.48	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (-)	最終目標値 (H32末)
1	・街なか歩行者通行量を112,000人(H23-25平均値)から、121,500人(H30-32平均値)に増加させる。 中心拠点区域内の調査地点(31箇所)における平日・休日の街なか歩行者通行量を測定します。 ・街なか歩行者通行量の3箇年の平均値(人) = (過去3年間の歩行者通行量平均値) + (事業実施効果による増加)	112000人	人	121500人
2	・街なか居住者率を6.1%(H25)から6.5%(H32)に増加させる。 市全体に占める中心拠点区域への徒歩圏内となる区域の居住者数の割合を測定します。 ・街なか居住者率(%) = (徒歩圏内(半径1km)の居住者数) ÷ (市全体の居住者数)	6%	%	7%
3	・中心市街地の好感度を39.8%(H24)から60.0%(H32)に増加させる。 アンケート調査で中心市街地に活気が出る等の好感を持っていると回答した市民の割合を測定します。 ・中心市街地の好感度(%) = (中心市街地に好感を持っていると回答した人数) ÷ (アンケート調査の回答者総数)	40%	%	60%
4	・街なか空き店舗・空き地率を13.8%(H25)から、9.0%(H32)に減少させる。 中心拠点区域内の商業エリア(6街区)における1階路面部分の空き店舗及び空き地の割合を測定します。 ・街なか空き店舗・空き地(%) = (空き店舗及び空き地の区画数) ÷ (総区画数)	14%	%	9%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	○	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	八戸市	直接	八戸市	-	-	八戸市中心拠点地区都市再生整備計画 都市再構築戦略事業(人口密度維持タイプ)	公園、地域生活基盤施設、高質空間形成施設、高次都市施設、中心拠点誘導施設、優良建築物等整備事業 165ha	八戸市						6,516	1.01	-
		都市構造再編集中支援事業に令和2年度より移行																	
													小計					6,516	
											合計						6,516		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市再生整備計画事業	C10-001	都市再生	一般	八戸市	直接	八戸市	-	-	コンパクトなまち形成推進調査	コンパクトなまち形成に資する調査分析	八戸市						22	-	
		都市計画マスタープランに掲げるコンパクト&ネットワーク型の都市形成を目指し、都市機能の再構築に向けて現在のまちの構造等の検証や市民参加による検討を行う。																	
	C10-002	都市再生	一般	八戸市	直接	八戸市	-	-	本のまち八戸交流拠点形成事業	本をツールにした交流拠点の設置・企画検討	八戸市						50	-	
		本をツールにした交流拠点を設置し、運営にあたり専門家による企画検討を行うことで、市民の文化・教育の振興とまちの活力の維持・増進を図る。 都市構造再編集集中支援事業に令和2年度より移行																	
	C10-003	都市再生	一般	八戸市	直接	八戸市	-	-	（仮称）三日町にぎわい拠点整備事業	施設の整備効果を高める機能等を整備	八戸市						234	-	
		（仮称）三日町にぎわい拠点の利用促進を図るため、備品の保管庫や機械室等、施設の利便性やまちの回遊性の向上を図る上で必要な機能を整備する。																	
											小計						306		
											合計						306		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	232	787	377	1,180	872
計画別流用増 減額 (b)	7	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	239	787	377	1,180	872
前年度からの繰越額 (d)	0	24	748	294	446
支払済額 (e)	215	63	831	1,028	986
翌年度繰越額 (f)	24	748	294	446	332
うち未契約繰越額(g)	14	71	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	5.85	8.75	0	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					